

速報 日本クルーズ＆フェリー学会総会・講演会が盛会裏に終了

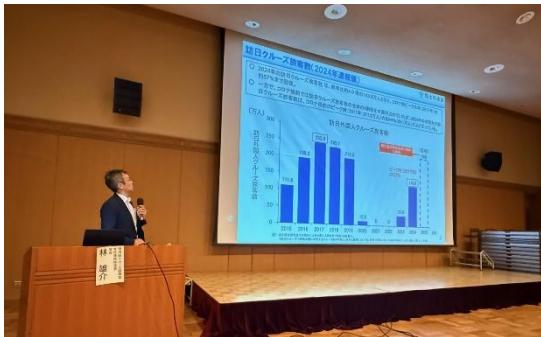
2025年11月8日(土)、神戸海洋博物館の講堂において本年度の総会・講演会が開催され、94名の参加者を得て盛会裏に終わりました。

總會

## 2024年度の活動報告および会計報告、2025年度の予算案が提示されて、了承されました。

## 講演会

赤井会長の開会挨拶、和泉神戸市港湾局副局長の歓迎挨拶に続いて、4つのセッションがもたれました。



セッション1では、梅田大阪大学名誉教授の

司会のもと、最初に楠山国交省外航課課長補佐が「日本のクルーズ市場の持続的発展に向けた有識者会議」の報告書について説明して、クルーズ人口 100 万人の目標に向かって政策を進めていくと力強く宣言しました。続いて、オリエンタルランドの志村クルーズ事業準備室長が 2028 年から東京発着で行うディズニー・クルーズの概要を説明しました。長年日本発着のクルーズを行ってきたプリンセスクルーズからは、鈴木ポート・オペレーション・ディレクターが、ダイヤモンド・プリンセスに続く第 2 船としてサファイア・プリンセスを日本発着クルーズに投入することを説明して、日本のクルーズマーケットの拡大に貢献するとしました。

大阪公立大学の池田名誉教授は、日本にクルーズ産業を中心とした新しい海事クラスターを創生するために、来年3月から「客船研究会」の再発足をすることにした経緯の説明を行い、続いて片山教授が欧州におけるクルーズ客船建造を中心とした「高利益の上がる造船業」についてCLIA欧州のレポートの内容を概説しました。





セッション2は、赤井大阪大学教授の司会のもと、フライ&クルーズを活用したクルーズ振興をテーマにした4つの講演がありました。1つ目として、池田名誉教授によるフライ&クルーズの歴史と、その効用についての解説がありました。続いてルッソ MSC クルーズジャパン副社長から、MSC クルーズの日本発着クルーズの紹介があり、沖縄那覇発着のフライ&クルーズが成功裏に行われていること、地元沖縄の乗客が意外に多いという説明がありました。藤原関西エアーポート神戸統括部長からは、神戸空港と神戸港との関係についての説明があり、まだクルーズ客が主要なターゲットになっておらず、神戸発着のクルーズを増やす努力が必要との指摘がありました。向井商船三井クルーズ社長からは、「にっぽん丸」によるフライ&クルーズ商品「飛んでクルーズ北海道」から始まる同社のフライ&クルーズの歴史、沖縄への展

開、そして同社の新船「三井オーシャンフジ」と「三井オーシャンサクラ」でもフライ&クルーズにも力を入れていくとの説明がありました。また北海道、沖縄のクルーズ共に、地元の乗客が多く、北海道での体験者が沖縄のクルーズをフライ&クルーズで楽しむといった事例もあると語りました。



セッション3は、片山教授の司会のもとに、クルーズの経済効果とオーバーツーリズムに関する2つの講演がありました。林港湾局クルーズ振興室長は、訪日クルーズ船およびクルーズ客の数の推移、経済効果等について説明しました。カジュアル船やラグジュアリ船の乗客の寄港地での消費額等についても調査が行われて解析が進みつつあるとのことでした。池上全国自治体ライドシェア連絡協議会事務局長からは、クルーズの2次交通対策としてのライドシェアの活用を、別府、清水、佐世保で調査した結果を紹介し、共通課題と地域課題があり、それぞれについて対応することが必要と指摘しました。



セッション4は、団体会員各社の商品紹介が行われました。まず向井商船三井クルーズ社長からは、「三井オーシャンサクラ」のクルーズが公表されたので、ぜひ乗船をしていただきたいとの紹介がありました。MSC クルーズジャパンの百武氏からは、CLIA 報告書に基づく世界のクルーズの現状紹介のあと、日本クルーズ&フェリー学会の会員向けの MSC ベリッジの特別クルーズ商品提供のお知らせがありました。サンスターの萬田氏からは、大阪～釜山間の「パンスター・ミラクル」の紹介の他、高速賛同客船「パンスター・グレイス」による釜山発着の沿岸クルーズが始まるとの紹介がありました。同船は、元「クイーン・ビートル」で、BV による船級検査で安全性が確認されて沿岸クルーズへの就航ができることとなったとのことでした。また、なかなか行きにくい対馬北部には釜山からの高速旅客船を運航しており、「パンスター・ミラクル」で釜山まで行って、高速旅客船で対馬に行くという旅もいいのでは、との紹介もありました。



お詫び: 池田氏、片山氏、百武氏の講演時の写真がうまく撮れていませんでしたので掲載されておりません。

講演会終了後、モザイク3階のレストランの一画を借りた懇親会が開催されて49名の参加者がありました。斎藤准教授の司会のもと、参加者の自己紹介の後、各テーブルに分かれての賑やかな懇親がされました。



